

「令和6年度伊達市経営に関する説明会（保原地域）」発言録

日 時：令和6年4月24日（水）

13時40分～14時30分

場 所：保原市民センター

参加者：93/121人

（行政推進員）

市 長：説明「今年度の市政経営方針について」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

生活環境

■緑の募金について

行政推進員：緑の募金の振込先の口座名が非常に長く、振込手続きが大変であるため、早急に振込口座名の変更または振込口座名が入力された用紙の作成をお願いしたい。

産業部長：緑の募金へのご協力ありがとうございます。口座名の変更または振込用紙の変更について今後検討をさせていただき、早急にいずれかの方法で対応させていただきます。

■側溝掃除にかかる市の人的支援について

行政推進員：側溝掃除について、市から土嚢袋等の物的な支援はいただいているが、地域も高齢化により作業できる人がいないため、毎年でなくてもいいので市から人的支援をいただくことはできないか。

建設部長：側溝等の土砂の撤去に関しましては、自治会や地域の皆様にご協力いただいているところが現状でございます。しかしながら、非常に土砂が堆積しており閉塞してしまっている等の問題がある場合には、現地を確認させていただき、必要に応じて対策を講じさせていただければと思います。

まちづくり・地域振興

■健幸づくり推進員と青少年育成推進員について

行政推進員：毎年町内会より健幸づくり推進員と青少年育成推進員を各1名選出しているが、こういった役割を担っているのか。必要ないのではないか。

健康対策担当参事：健幸づくり推進員についてお答えいたします。各町内会で1名以上の選出をお願いしており、市で年間3回開催される健康に関する研修会に参加いただいております。そこで健康に関する知識を身に付けていただき、その知

識を可能なかぎり町内会の皆様に共有いただくことをお願いしております。本事業は令和4年度より実施しており、令和5年度は414人の方にご協力をいただいております。同じ方が再任されても良いものとしておりますが、なるべく多くの方にご経験いただいて、健康に関する知識を身に着けていただければと思います。

市長：青少年育成推進員について、毎年市内の各種団体が集まり、青少年に対する取り組みや現状についてお話しする青少年育成市民会議を開催しております。青少年育成推進員の皆様にはそこにご参加いただき、青少年の育成に関する進め方等についてお聞きいただいております。そのため、具体的にご自身の地域で何かを行っていただかなくてはいけないものではなく、町内会の皆様へ学んできた知識や資料等を共有いただくといった役割となっております。青少年には高校生くらいの年齢だけでなく小さな子どもたちも含んだ意味合いとなっております。青少年の育成には保護者だけでなく地域の皆様に関心を持っていただくことが必要であると思いますので、ご理解をいただければと思います。